

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	476	訪問指導事業(負担金分)	区分	コード	名称
基本施策	01	10万市民の健康を維持する	会計	01	一般会計
施策	2	ライフスタイルに応じた保健予防対策の推進	款	04	衛生費
			項	01	保健衛生費
			目	01	保健衛生総務費
			細目	102	保健事業
			細々目	05	訪問指導事業(負担金分)
基本計画該当頁	60	753000	評価者氏名	奥田 充法	連絡先
行革大綱の重点事項番号	7	担当部課	名称	青山支所 健康福祉課	52 - 3228 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	健康や療養上の保健指導が必要な方、及びその家族。 (対象件数)	成果(どうなるのか)	個別の相談をとおし、健康に関する知識の普及や療養上の必要な助言・指導される。
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	老人保健法
本年度事業内容	・個別に対象者宅に訪問し、本人及びその家族に対して血圧測定、尿検査や健康に関する相談、療養上の助言、指導を行う。		状況変化等	老人保健法に基づき実施されてきたが、平成18年度から65歳以上は介護保険法による介護予防事業に移行し、対象が40～64歳までとなった。平成20年度からは、老人保健法の改正により健康増進法に基づいた事業として実施することになる。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( ) 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
訪問指導者数	人	実績 25	実績 16	目標 16	目標 16
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
訪問指導件数	訪問指導延べ件数	件	実績 25	実績 16	目標 16	目標 16
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	心身ともに安定した生活をするために、援助や支援が必要な方に保健指導を行う。
有効性	3	生活環境や家族を含めた状況把握を行うことができ、より個々に応じた指導、助言を行うことができる。
達成度	4	訪問指導が必要なケースは訪問し生活習慣の改善や療養上の助言等確実かつ適切におこなうことができる。
効率性	3	訪問指導としての経費は公用車燃料代の外、他の経費の支出軽減を図っている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	医療機関や関係機関と連携を図りながら新規対象者等の把握に努める必要がある。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
	委託				41				43				44				45
	工事																
	進捗率(%)																
事業投入人員		人員費(B)	0.8	人	5,760												
フルコスト(A)+(B)					5,801				5,803				5,804				5,805

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	41	43	44	45
Aの財源内訳	国庫支出金	12	14	14	15
	県支出金	15	14	14	15
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	14	16	16	15
	計	41	43	44	45
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	老人保健事業国1/3・県1/3・市1/3(国・県支出金額相違は本庁の按分による)	老人保健事業 国1/3・県1/3・市1/3	老人保健事業 国1/3・県1/3・市1/3	健康増進事業 国1/3・県1/3・市1/3